

写真提供：エコミュージアム研究会せんなん
（「槻木ものがたり」より「宮城県柴田町槻木・竹原神社」にて）

夏の街道ニュースをお届けします。

みやぎ街道交流会ニュース

第10号 2009年8月10日発行

Interview

「エコミュージアム研究会」の活動と街道との関わりを通じて

エコミュージアム研究会せんなん
会長 秋本好則

交流会ニュース第10号では、みやぎ街道交流会の幹事であり、「エコミュージアム研究会 せんなん」の会長でいらっしゃる、秋本好則さんに、エコミュージアム研究会の活動と街道との関わりなどについてメッセージをいただきました。

私たちのエコミュージアム研究会活動についてご紹介したいと思います。私たちの会は「自分たちの住む町のことをもっと知ろうよ」という活動、いわばスロータウン的なまちづくり活動を目指しています。そんな活動をしているうちに奥州街道の役割に気がきました。

物資だけでなく、人物や情報までもがこの街道を通じて交流していた訳ですから、街道の歴史を知ることが地域を知ることになると思ったのです。

私たちは最初に白石から岩沼までの奥州街道を調べ、奥州街道絵図を作成しました。翌年は「時空の旅」と題してウォークラリーと街道ウォーキングを行いました。これは伊達騒動で有名になった寛文事件の主人公、原田甲斐が領主をつとめていた船岡で行ったイベントで、江戸時代にタイムスリップして、参加者に歴史を学んでいただきながら歩くというものでした。

昨年は宿場町として栄えた槻木の歴史について、江戸時代に限定することなく見ていただく「平成槻木ものがたり」を開催しました。会のメンバーが槻木の歴史や自然を調べ、みずから執筆したものや、オリジナルのものがたりなどを和装丁の本にまとめました。自分で調べたことを歩いて確かめることは本当に自分のものになるという気がしました。

これまでの活動を通して、私達の生活は文化の積み重ねから成り立ち、忘れがちな根っこの部分がいかに大切であるかということを感じました。そしてこの部分をもっと知ろうとする活動から、現代に生きる多くの人々との交流が生まれました。こんな活動をこれからも続けて行きたいと考えています。皆様のご支援をよろしくお願いします。

■■■エコミュージアムとは■■■

暮らしや自然や歴史をみつけ「まちづくり」を考える活動です。

エコミュージアムは

- ・ 研究所です
- ・ 保存機関です
- ・ 学校です
- ・ 博物館なのです

住民が行政がとともに構想し、まちの未来を具体化し、活用する方法です
～エコミュージアム研究会 せんなんホームページより引用～



「時空の旅」にて



奥州街道一里塚調査にて
（前列・向かって左から2番目が秋本さん）



和装丁の槻木ものがたり

第11回二井宿古道ハイク 2009.5.9sun 山形県東置賜郡高畠町

このハイクには、一年の始まりのイベントとして、街道仲間がたくさん参加しています。みやぎ街道交流会会員も10名が参加し、スタッフを含めて総勢80名でのイベントとなりました。

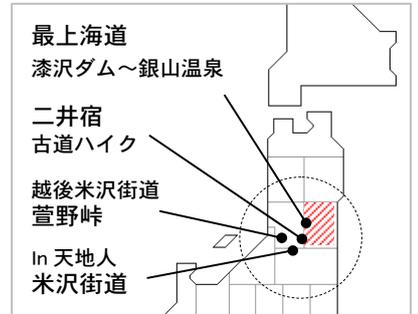
参加回数は今年で4回目を数え、いつもの知ったコースですが、毎年気候などの違いから新しい発見があります。近年の観光の課題としてリピーターの確保が挙げられますが、この古道ハイクには何かヒントがあるように思います。

(山屋レポートより)



二井宿古道ハイクラしい山の稜線

5月以降、各地で開催された街道関連のイベントにみやぎ街道交流会事務局のメンバーが参加してきました。その様子に参加メンバーのレポートから、少しご紹介いたします。



in 天地人・米沢街道 2009.5.31sun 福島県喜多方市～山形県米沢市

第9回ふくしまけん街道交流会「in 天地人・米沢街道」にみやぎ街道交流会から、会員の大利さんと横山の2名が参加しました。今回は好評のNHK大河ドラマがテーマの企画で、また個人的にもあまり馴染みのない地域だったため、大変興味がありました。講演会35名・探訪会39名が参加し、米沢街道のルートから、塩川宿・熊倉宿・大塩宿/松原宿の説明を受け、翌日は、松原峠まで昔の道を歩いて回り、各宿をバスで訪ねました。

(横山レポートより)



鳥居の先から松原湖の湖底へと続く昔の街道

Report02
高清水北甚六原遺跡発掘説明会への参加

平成21年6月6日(土)、「北甚六原遺跡発掘調査現地説明会」(栗原市教育委員会)があり、みやぎ街道交流会から高倉会長とともに参加してきました。

道路跡に沿った形で、中世の屋敷跡が確認され、当時の町並み景観の検討が可能

道路跡は、幅約3.8m、両側に側溝を確認

高清水は、中世の遺跡がまとまって確認されている地域

近くの新幹線西側には中世の街道と想定される遺構がある

今回の道路跡は、多賀城から伊治城を結ぶほぼ直線上にあることが、私は気になりました。(山屋記)



軽井沢越「最上海道」 2009.6.7sun 宮城県加美町～山形県尾花沢市

「古川どっぽ山の会」が主催する古道歩きハイキングは52名の参加者により開催されました。

芭蕉が避けたと言われる「幻の奥の細道・最上海道」を宮城県・漆沢ダムから山形県銀山温泉まで約15.8kmの山道を歩きました。

近年、近隣市町村の街道研究会で山道の整備調査・探索が盛んに行われその全貌が解りかけてきたところです。このハイキングを契機に立派な古道として甦ることを楽しみにしています。

甦れ!「最上海道」(高柳レポートより)



県境付近で山形県側の方々と記念撮影

第5回萱野峠敷石惚れ掘れ探検隊 2009.7.4sun 山形県西置賜郡小国町

今年で第5回目となる、恒例の越後米沢街道「萱野峠敷石惚れ掘れ探検隊」に会員の三嶋さんと一緒に参加してきました。

敷石掘りの翌日は、午前中地元玉川の井上さんの案内で朴ノ木峠を歩き、午後は黒沢峠を一里塚まで私の案内で歩きました。

今回、朴ノ木峠の越後側から峠までは初めて歩くこととなり、これで大里峠、萱野峠、朴ノ木峠、黒沢峠、宇津峠(米沢側のみ)と5つの峠を歩いたことになりました。(山屋レポートより)



掘り起こした石畳の前で恒例の記念撮影

今後の行事予定

詳細は各事務局までお問合せください。

Event01

講演会・炭焼藤太を語る会

9月5日(土) 14時～
みやぎNPOプラザにて

(仙台市青葉区榴ヶ岡)

第1部 民話語り/第2部 ミニ講演会

終了後は街道談義も予定しています。

※詳細は「みやぎ街道交流会」事務局まで

Event02

羽州街道交流会 in 大鰐

9月12日(土)～13日(日)
青森県大鰐町にて

昨年の秋田県六郷町・美郷大会に引き続き、今年は青森県大鰐町で開催されます。

※詳細は「羽葉街道交流会」事務局まで
(連絡先 tel023-695-6222)

Event03

とうほく街道会議・第5回交流会

10月3日(土)～4日(日)
青森県青森市にて

昨年の仙台・宮城大会に引き続き、今年は青森市内で開催されます。

※詳細は「とうほくの街道」事務局まで
(連絡先 tel022-292-1740)

編集
後記

東北地方は梅雨が明けないまま、8月に突入してしまいました。各地の街道探訪会等でも、途中小雨などに合われた方も多かったようですね、

これから、9月～10月までは、東北各地で交流会などが開催されます。みやぎ街道交流会でも、第2回の交流大会開催に向けて、準備を進めています。次回交流会ニュースでは、その詳細をご紹介できるかと思えます。

次回交流会ニュースは10月頃の発行を予定しています。次回もどうぞお楽しみに。(編集くり)